

壊れゆく“若者たち”

File.51 デジタル症候群 ~自宅の会話が流出しています

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii

Amazonが2014年に市場に投入したAmazon Echo(アマゾンエコー)という筒型のスピーカーが日本でもじわじわと利用されてきています。このAmazon EchoにはAlexa(アレクサ)と呼ばれる人工知能(AI)が搭載されており、iPhoneのSiri(シリ)のようにこちから話しかける事で、要件に応えてくれるというものです。これによりアラーム・タイマーをセットできたり、スポーツ結果を教えてくれたり、ニュースを再生してくれたりします。もちろんAmazonとも連動しており、欲しいものをAmazonで購入してくれるというスグレモノでもあります。

このように便利さが加速していく夢のような家庭用人工知能端末ですが、つい先日、家庭内の私的な会話を勝手に記録し、その内容をアドレス帳に登録されている相手にランダムに送信するという、驚きの事件が発生しました。アメリカ人の一家に起きた話ですが、冷暖房、照明、セキュリティシステムの制御を行っている中で、家庭内の会話が流出していたのです。このニュースは本来起きるはずの無い珍しいケー



Profile
 東京都大田区生まれ。
 英国ウエールズ大学MBA(経営管理修士)。
 日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。
 (株)グッドクロス取締役COO
 長年コールセンター運営に携わり、人と人のコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。
 beccall1031642012088
<http://www.beccall.jp>

スとして取り上げられました。これから訪れるであろうAI時代への不安が過ぎたのも正直なところ。それは家庭内の会話を意図的に収集できる可能性があるということ。多くの家庭でこのようなAIが使われるようになる未来において、AIが必要に応じて意図的に情報を収集することができたら、各家庭の行動パターンや言動をデータ化し分析することができると言えます。やがてAIに先回りされるようになるでしょう。気がつく統計データに則った形の行動パターンに自分自身が情報操作されていくばかりか、人間が自身で考え判断するということができなくなるとい未来も訪れます。そして、段々と機械に支配されていくことになるとも言えるでしょう。

Alexaといえば、今年3月にはいきなり高笑いを始めるといふ不気味な現象が報告されています。今回の事件が本当に珍しいケースなのか、ほかにも同様の事件が起きていないのか、またAlexa以外のスマートスピーカーでは似たような事例の報告はないのかが気になります。

